

水俣病は、日本の歴史上最悪の工場廃水による環境汚染事件である。1956年(昭和31年)の公式発見から半世紀が過ぎた今も、多くの住民が被害を認定されないまま放置され、チツソと行政の非を問う裁判が続いている。水俣病の歴史には、経済発展のために弱者の人権や命を軽視した社会の病根が映し出されている。今日の様々な環境問題の原点がここにある。

MINAMATA

水俣に学ぶ

公開講演会



日時 4月16日(土) 午後2時～4時30分

会場 鹿児島大学 理学部220号教室

鹿児島市郡元1-21-35 (地図参照)

市営バス:農学部前または法文学部前で下車、徒歩5分。

電車:「唐湊」電停より徒歩5分。

自家用車でのご来場はご遠慮下さい(ただし事情のある方はご相談下さい)。

入場料:無料

《プログラム》

はじめに

水俣の教訓は生かされているか 〈諫早湾・上関・川内〉

佐藤正典(鹿児島大学理学部)

講演

水俣に学ぶ旅

原田正純(医師、元熊本学園大学)

(原田正純(まらたまさすみ) / 1934年、鹿児島県(宮之城町)生まれ。熊本大学医学部助教授、熊本学園大学教授を歴任。水俣病、三池炭塵爆発、カネミ油症、土呂久鉱毒など様々な公害や労災の問題に取り組む。カナダ、韓国、ベトナム、ブラジルなど国外の環境汚染も調査。それらの経験を元に、学際的な「水俣学」を提唱。大仏次郎賞、吉川英治文化賞、南日本文化賞、朝日賞など受賞。「水俣病」「豊かさと棄民たち」(岩波書店)、「水俣が映す世界」「水俣学講義(1-4集)」「水俣への回帰」(日本評論社)など著書多数。)

主催:鹿児島大学教職員組合、日本科学者会議鹿児島支部

問い合わせ先 / 佐藤正典(鹿児島大学理学部)

電話:099-285-8169 電子メール:sato@sci.kagoshima-u.ac.jp

または鹿児島大学教職員組合事務局

電話:099-285-7285、ファックス:099-285-7286